とうえい

10月号

発行者●社会福祉法人桐栄会
●青森市浪岡大字樽沢字村元330番7
TEL　0172－62－9201
FAX　0172－62－9019
編集●広報「とうえい」編集委員会

ほっぺ　ほっぺ

九月六日（日）その日は爽やかな天気に恵まれ、利用者の方は朝からウキウキされていました。それもそのはず…水木保育園運動会に招待されており、待ちに待った子供達に会える嬉しさで一杯だからです。

今年は保育園のご厚意により“ほっぺほっぺ”という競技にも参加。スタートと同時に、駆け寄ってくる子供達から写真入りのペンダントをもらい、頬を優しく撫でてもらい手をつないでゴール！まるで、孫や曾孫の運動会に来たような柔和な風景に心温まり、良き時間を過ごさせて頂きました。

保育園の方々の御協力に、心から感謝いたします。

斎藤　優子

夏の想い出…

夏の猛暑も過ぎ、一面緑だった水田も、今では黄金色へと模様替えをし、すっかりと秋らしくなってきた今日この頃です。

さて、毎年恒例となっている「夏祭り」は、今年も楽しく行うはずでしたが、当日は生憎の雨となり、その中での「夏祭り」となってしまいました。

なかでも、常盤事業所では今年「開設十周年」という大きな節目を迎える年になります。しかし、空からは大粒の雨…。職員の余興は勿論の事、お祭りの為に来園して下さった、多くのゲストの素晴らしいステージ迄もが、雨の降りしきる中で行われました。

天候にこそ恵まれませんでしたけど、協力して下さった関係者各位の御陰で「常盤事業所開設十周年記念・夏祭り」も、成功の二文字で幕を下ろす事が出来ました事に、深く感謝申し上げます。

追伸：

駐車場や道路で交通整備をしてくれた方達に、元首相のお言葉を拝借して一言：”孤独と寒さに耐えながら、よく頑張った！感動した!!“です。

福士　陽平

ときわステージ

- 山本流山本社中様
- 永山こうじ様
- 常盤文化協会様

ゆうゆう荘ステージ

- 野沢保育園鼓笛隊様
- 吉野田児童館一輪車クラブ様
- 女鹿沢小学校鹿の子太鼓様
- サエラ様

社会福祉法人 桐栄会の事業

浪岡事業所

【介護保険指定事業】

◆特別養護老人ホーム　ゆうゆう荘
- 介護老人福祉施設
- 短期入所生活介護
- 介護予防短期入所生活介護

◆デイサービスセンター悠悠
- 介護予防通所介護
- 介護予防認知症対応型通所介護
- 通所介護
- 認知症対応型通所介護
- 介護予防短期入所生活介護
- 介護予防訪問介護
- 訪問介護

◆浪岡在宅介護支援センター
- 居宅介護支援
- 介護予防居宅介護支援

【老人福祉事業】
- 浪岡在宅介護支援センター
- 外出支援サービス

◎電話（代）　〇一七二－六二－九二〇一

常盤事業所

【介護保険指定事業】

◆特別養護老人ホームときわ
- 介護老人福祉施設
- 短期入所生活介護
- 介護予防短期入所生活介護

◆デイサービスセンターみずき
- 介護予防通所介護
- 介護予防認知症対応型通所介護
- 通所介護
- 認知症対応型通所介護

◆在宅介護支援センターあずさ
- 居宅介護支援
- 介護予防居宅介護支援

◆グループホームいこい
- 認知症対応型共同生活介護
- 介護予防認知症対応型共同生活介護

【ケアハウス】
- ケアハウスしずか

【老人福祉事業】
- 在宅介護支援センターあずさ

◎電話（代）　〇一七二－六九－五二二五

◎編集後記

前回発行号よりメンバーに加わり、少しずつですが慣れてきた!?ように感じます。今回の「とうえい」はいかがでしたでしょうか？

今年も早くて、もう秋ですね。私にとっては、実りの秋！収穫の！：食べ物の美味しい季節！とにかく秋は大好きです！そして、今年の秋は、少し成長した息子と栗拾いに行こうかな：最近は驚く程の言葉遣い！大人顔負けの態度に、ただただ唖然とする毎日です。実りの秋だけでなく、息子の成長を感じさせる今日この頃でした。

これから寒くなり、風邪等流行する季節です。手洗い、うがいの予防と、十分な栄養と睡眠で、風邪に負けない身体作りをして下さい。

葛西　智美

♡感謝録

- 樽沢子供会ねぷた
- 水木ねぷた愛好会
- 水木保育園
- 消防団水木分団
- 藤崎町交通安全協会

順不同・敬称略

※「とうえい」掲載の個人に関する情報は、ご本人の許可を得て使用させて頂いております。

敬老の集会

ゆうゆう荘

では、九月十三日に敬老の集いを行いました。今年は、米寿の方が四名おられ、顕彰を受けられました。顕彰された方は本当におめでとうございます。

敬老の集いでは、ご家族の皆様も招待し、一緒に楽しんで頂きました。職員の余興では今年の夏祭りで好評だった、お祭りマンボ～敬老会バージョン～の踊りと、日本舞踊を行い、利用者の方々と、ご家族の方の両方に見て頂き、そして楽しんで頂けたかと思います。誰よりも緊張していたのは職員の方で「夏祭りの時より緊張する」という声が多々聞かれ、戸惑う職員が続出…何はともあれ、無事に終わってホッと胸を撫で下ろしておりました。

又、今年は利用者のご家族の方が手踊りを披露して下さり、中でも前に自分が指導していた事のある利用者の方は、特に真剣な眼差しで鑑賞されておりました。

もう一つの楽しみでもある昼食は、希望ご家族の方と、利用者の方、一緒に召し上がって頂きました。

久々に家族団らんで摂る食事風景は、とても幸せそうな雰囲気に包まれているように見えました。今後も、利用者の方々に日々、楽しく健康で過ごしていて頂けるように職員一同努力して参りたいと思っております。

葛西　智美

グループホーム・いこい

では、九月二十日に敬老会を行いました。暦の上では九月二十一日が敬老の日なのですが、彼岸の入りという事もあり、一日早く行う事にしました。敬老会では職員より、日頃の感謝を込めて、手作りの感謝状が贈られました。感謝状を受け取ると「ありがたいやね。何も感謝されるような事はしてねぇばってな…」と笑顔で言ってくれました。

又、毎年恒例のおはぎ作りも行いました。一個一個丁寧にあんこを包んでいく姿を見て思わず「さすがベテランさんだ！手つきが違う！」と言うと「手が覚えているんだよ」と言いながら、職員に包み方などを教えてくれました。最後には、みんなで作ったおはぎを美味しく頂きました。年の功は、匠の技！

長谷川　由佳呼

デイサービスセンターみずき

では、恒例の敬老会が九月十三日より一週間行われました。今年は、古稀一名、喜寿一名、卒寿二名、がおられました。顕彰された皆様おめでとうございます。

長寿を祝う余興では、まず「二人羽織りでお化粧」が行われ、手探りで施す化粧に終始笑いが絶えませんでした。出来上がった顔はとても綺麗!?とは言えませんけど、是非魔よけに…と一緒に写真を撮りたいとの声もあり、とても楽しんでもらえたようでした。続いて行われた「手品」では、完璧に練習していたはずなのに…「ああ！分かった！」と、素早くタネを見破る利用者の方もおられ職員たじたじの場面もありました。

最後には、自慢の喉を披露するカラオケ大会です。男性職員と寄り添いデュエットされた利用者の方は、「昔を思い出す…」と頬を赤らめて熱唱されたりと、これもまたとても楽しめてもらえたようでした。

来年もまた、皆様が笑顔で敬老会を迎える事が出来ますよう、職員一同努めて参りたいと思います。

對馬　美晴

鷲の終わりは楽しみいっぱい!!

猿賀神社といえば、夏に見事な花が咲く「蓮の花」が有名ですが、その蓮の花が咲く池に沢山の鯉がいるのはご存じですか？

池の端に人が立つやいなや、口を大きく開け、餌を欲しがる様子は圧倒されるものがあります。

利用者の方も購入した餌を与え始めると、足元にアッ！という間に大量の鯉！鯉！鯉…。その様子に、利用者の方の笑顔が絶える事はなく、中には笑い過ぎて涙を流しながら餌を与える方もいらっしゃいました。

又、「嶽きみが食べたい！」との希望があり、九月七日からの一週間、嶽方面へドライブに行ってきました。天候にも恵まれ、車中から見える岩木山が時間と共に大きくなっていく姿を見て「わぁ～い！岩木山綺麗だじゃ！何年もこっちさ来た事ねぇじゃ！」など「昔は馬車で来たもんだ！」と、話しに花が咲いていました。岩木神社の前を通り、しばらくすると「嶽きみ」の看板が見え始め、店の前に車を止めると、思い思いに買い求めていました。帰りの車中は茹でたての「嶽きみ」の香りで一杯でした。いつもより遠出のドライブでしたが、皆さん疲れた様子もなく「楽しかったよ！」と笑顔で話してくれました。「来年もまた行くよ！」

田沢　史子

インターンシップ

去る、八月三十一日から九月二日にかけて、浪岡中学校からインターンシップとして、三名の学生の方が、ゆうゆう荘に「介護の仕事体験」として来られました。

学生の方達には、私達が普段行っている食事介助や、排泄介助、入浴介助等を始めとする様々な業務の見学、そして実際にレクリエーション等で、利用者の方々と触れ合う体験をしてもらいました。突然の訪問に利用者の方々も、初めは少し驚き気味でしたが、自分の孫や曾孫位の年頃になる学生の訪問に大喜び！すぐにうち解け、次第に楽しそうに会話されていました。

そして、三日間という短い期間の中で、インターンシップも終わりを迎える頃には学生の方達から「様々な事を体験・経験させていただき、とてもいい勉強になりました」という意見を聞かせてもらいました。

今回の「介護の仕事体験」を通じて、介護という仕事は大変だけど、それ以上にお年寄りの生活を支えるという、とても重要でやりがいのある仕事だと感じてもらえれば幸いだと思いました。

吉田　朋広

食べる楽しみをいつまでも・・・

現在、多くの施設では、摂取障害がある高齢者に対して、食事を細かく刻んだ「刻み食」と言われる介護食が提供されています。

しかし、細かく刻まれている為に口内に食べかすが残りやすく、飲み込みが上手くいかず、むせやすく、誤嚥を引き起こすという問題がありました。又、見た目にも悪く、高齢者の食欲をそそらない物でした。

そこで、刻み食の代わりとなる物として、見た目も美味しそうで柔らかいけどしっかり食べ物の形がある食事が**「ソフト食」**です。当施設でもソフト食を提供できないか、会議・研修を重ね、介護スタッフにも試食をしてもらう等、試行錯誤をしながら、ようやく提供する事が出来ました。

○ソフト食には3つの定義があります。

① 舌で潰せる硬さである事。
② すでに食塊となっている様な形である事。
③ 滑りが良く、移送しやすい物である事。

その為には、材料の工夫が必要です。肉は挽肉に、魚はすり身に… など。 又、煮込み料理は圧力鍋を使うと短時間で柔らかくなります。滑りを良くする為に「つなぎ」にも工夫が必要です。玉ねぎ・上新粉・片栗粉・卵・ジャガ芋の代わりに、市販のマッシュポテトの素を使うと、手軽で便利です。

今回は、ソフト食の調理法で「鶏の唐揚げ」を食べやすい挽肉で調理してみました。
（調理法は 図1 図2 参照）

利用者の方からは「肉は硬くて食べられないと思っていたが、柔らかくて美味しい」との好評を頂きました。

今後も、利用者の方の声に耳を傾けながら、全く新しい理想的な食形態を目指して行きたいと思います。

唐牛　史子

● 卵の素の基本分量（割合）
卵黄：サラダ油 ＝ 1 ： 1　図1

卵黄とサラダ油をボウルに入れ、泡立て器でよく撹拌する。
マヨネーズ状に白っぽく、なめらかになればでき上がりです。

材料（四人前）

鶏モモひき肉……１２０g
玉ねぎ……１２０g
サラダ油…… 適量

A（卵の素）
- 卵黄……１個分
- サラダ油……大さじ１

B
- 片栗粉…… 小さじ１
- 塩…… 少々
- コショウ…… 少々
- 醤油…… 大さじ１
- 酒…… 大さじ１
- ショウガ汁…… ひとかけ分
- おろしニンニク…… ひとかけ分

— 衣 —
小麦粉…… 適量
卵…… 適量
揚げ油…… 適量

〜 飾り 〜
りんご……１/４個
パセリ…… 適量

もっと飲み込みやすくするために　図2
…揚げ浸しにする
だし汁：うす口醤油＝１０：１で味付けしただしに唐揚げを入れ、揚げ浸しにします。
衣がしっとりやわらかくなり、食べやすくなります。